

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス			
○保護者評価実施期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 7年 4月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和 7年 4月 1日 ~ 令和 7年 4月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 5月 23日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児発児童も在籍しており、異年齢の小集団で活動を行うため子どもたち一人ひとりが「自分の気持ちも他者の気持ちも大切にすること」ということへの意識が芽生えるよう支援を行なっている。	児発児童がいる中で活動を展開していく際に職員の声かけなどを聞いて子どもたち自身でお互いにサポートし合うような関係性へ繋がるよう取り組んでいる。	自分の気持ちにも他者の気持ちにも素直に向き合えるよう、子どもたち一人ひとりがしっかりとコミュニケーションが取れるような充実した環境を整えていく。
2	バリアフリー化しており、子どもたちの活動スペースが十分に確保されている。また、子どもたちに分かりやすく遊具や玩具、学習用の教材などを配置するなどの配慮を行なっている。	バリアフリー化していることで段差もなく子どもたちの安全面を確保出来ている。また、遊具や玩具、学習用の教材の配置も子どもたちが分かりやすく、気軽に使用できるように配慮している。	視覚支援を活用して、もっと充実した環境を整えていくようにする。
3	子どもたち一人ひとりに合わせたライフステージを見据えたサポート体制を整えている。	同じ地域に姉妹店として2店舗事業所を展開しており、学年に合わせた療育を行なっている。また、毎月の合同ミーティングや合同活動を通して全職員で子どもたち一人ひとりの特性や療育に向けての話し合いを行なっている。	今後も姉妹店との話し合いや合同活動などを通して、全職員で一人ひとりのライフステージに合わせた療育を確立していくよう環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域資源の活用、放課後児童クラブや放課後等デイサービス、児童館との交流、地域の他の子どもたちとの関わりを現在設定していない。	人との関わりが苦手な子どもたちが多いため、地域の子どもたちとの交流の機会を設けていなかった。	地域のイベントに積極的に参加したり、他の事業所との交流会を行う機会を多く持てるよう今後計画していきたい。
2	自然災害などを想定した避難訓練や事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が保護者へ周知出来ていない。	契約時に保護者へ説明し、承諾を得ているが避難訓練や各マニュアルについてしっかりと周知徹底出来ていなかった。	今後、毎年4月を目安に保護者へ周知出来るような資料などを準備・配布していく。また、避難訓練について事前・事後報告を行い、より具体的に保護者へ周知する。
3	保護者向けの研修会は開催しているが、父母の会の活動の支援や保護者会等の開催を行なっていない。	保護者向けの研修会は定期的に行っているが、父母の会や保護者会などの開催に関して計画・実行までには至っていない。	家族が気軽に参加出来るようなイベントを計画し、保護者同士の交流や活動の機会を設けていくようにする。